新たな時代に向かって 誇りある

3月1日、市議会3月定例会議で近藤市長が平成 31 年度の施政方針を表明しました。

今号では市政運営の基本的な考え方と主要施策の 内容を抜粋して紹介します。



ていただけるようなまちづくり ています。こうした取り組み の先進的な取り組みなどを進め ベント、教育・福祉・産業振興 組みやアルテピアでの多彩なイ などの地域資源を生かした取り 語安来節、 足立美術館、 産「出雲國たたら風土記」、民 により、「誇り」を持っていた 存在感があり、豊かさを実感し また、月山富田城跡や日本遺 日本海側有数の圏域の中でも 周辺から注目を受けていま

だけるよう、今後ともハード

職員一人ひとりが認識するとと ます。また、厳しい財政状況を

緊急性、必要性の高い事

陽に大きな勢力を広げた尼子氏 戦国時代に山陰山

た。 「アルテピア」、中海ふれあい公で新安来庁舎、総合文化ホール 備を進めてきました。 さわしい将来を見据えた基盤整 えています。そのため、これま り」を持っていただけるような 民の皆さんが我がまちに「誇 まちづくりをしていきたいと考 切川バイパスなど都市にふ

大正・昭和時代に至るまでハガの本拠地として、また、明治・ にも文化的にも大いに栄えまし 減・社会減を抑制し、出生率向

ます。 り組みを重点的かつ着実に進め 施時期や終期の設定等を検証し え、費用対効果・事業規模・ 合計画将来像の実現に向けた取 一方で、中期財政計画 成31年度予算編成にあたっ 引き続き第2次安来市総

さらに、最大の課題である人

らの5つの施策を軸として自然 取り組んでいます。平成31年度域連携」からなる施策に全力で 向上」、「魅力的な地域形成」、「広 を掲げて、「結婚・出産・子育 ち・ひと・しごと創生総合戦略_ 度にあたります。引き続きこれ て支援」、「産業振興」、「住環境 口減少への対策は「安来市ま 総合戦略計画期間の最終年

文化分野 子育で・ 教育

成・つどいの広場・親子交流セ 児聴覚検査・予防接種費用助 て期にわたる切れ目ない支援を ンター事業など妊娠期から子育 保護者が安心して就労できる 不妊治療・子ども医療・ 新生

引き続き実施します。 環境を整備していくため、 放課

> よび、 え、児童生徒のパソコン整備お 配備等のICT環境の充実に努 います。 施となる新学習指導要領に備 会福祉法人等へも拡大するな 後児童クラブの運営委託先を社 |平成32年度からの順次全面実 充実に努めていきます。 無線LAN環境整備を行 また、大型提示装置の

てまいります。 情報活用能力の育成を進め

▲小学校などでは、ICT(情報通信 技術)化が進んでいます(写真は電 子黒板)。◀夏に行われるイングリッ キャンプ。 の子どもを対象に行います。会話は 全て英語を使います。▼島根県指定

文化財並河家の改修状況。

園児や小中学生など

続して実施します。 を見据えて、

整備を行います。 ター方式給食への移行に向けた 学校給食は、十神、 南、宇賀荘の小学校のセン 飯梨、 能

定文化財の並河家・原本家保存 着実に推進していきます。 できる環境づくりを計画的かつ 常的にスポーツに親しむことが 施設改修工事をはじめ市民が日 いの取り組みや教育力を補完し 活動を展開していきます。 安来港の繁栄を今に伝える指 安来運動公園庭球場など体育 学校・家庭・地域の三者が互 郷土愛の醸成につながる

る環境整備を進めます。 室改修設計など保存や活用でき 修理の支援や加納美術館の展示

高齢者が住み慣れた地域で尊

語」の習得を目指します。 増員し、児童生徒の「使える英)経年劣化により老朽化が著し 外国語活動や外国語科の授業 外国語指導助手を

とともに、安全な運行管理を継 い、児童の通学環境を整備する いスクールバスの車両更新を行

す。 早期発見・早期治療を目指しま

医師や薬剤師、看護・介護分野 度の対象に薬学生を追加しま 体制の構築を図っていきます。 来にわたり持続可能な医療提供 善と整備に係る検討を行い、 の人材確保を目指します。 市立病院においては、 これにより地域医療を担う 経営改 将

福祉分野 保健・医療

る充実のため、 ます。また、 の生活支援サービスを充実させ できるよう介護・医療・住まい 厳を持ち安心して暮らすことが

介護予防のさらな 住民が主体と

査で、 査を新たに実施し、 平成31年度から3歳児健康診 視能訓練士による視力検 視覚異常



市立病院まつりでは、 体験ブースな どを設け、病院業務を紹介しました。



ンティアの養成などに取り組ん 通いの場の拡充や生活支援ボラ なって実施するミニサロンなど

産

産業・観光 佣分野

を進めます。 池の廃止など、 に影響を及ぼす恐れのあるため ほ場整備を進めます。 区に加え、下山佐地区の大区画 近年の豪雨を踏まえ、下流域 ・安田・宇賀荘第三・吉田 基盤の強化の 防災・減災事業 た

では、新たに2棟の建設を 就農・定住パッケージ事

地大 環境の保全並びに農業用施設等 用施設等の地域資源および農村 図ります。 農者の誘致および定住の促進を 地域共同による農用地、 UIターンによる新規就

の長寿命化を推進します。

積を図ります。また、それと同 業務を支援する新たな組織を市 時に未間伐林など管理がされて で設置し、経営可能な山林の集 て、「新たな森林管理システム」

)森林環境譲与税を財源とし

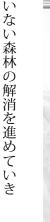
▲安田地区のほ場整備の様子。 この地区ではコメのほか、大豆やア スパラガスなどの栽培が予定されています。市内のほ場整備は西日 本屈指の規模で、全国から注目を集めています。

おける新製品および新技術の開 鋼関連産業等ものづくり企業に の代表的な集積産業である特殊 ションを進めていきます。ま 雇用の促進を図るため、 来市観光協会と連携して進めま るインバウンド対策事業等を安 た、今後さらに増加が見込まれ 地域経済の健全な発展および 取引拡大に向けた取り組み 安来市

たな工業団地整備を進めます。 企業の新設・増設等を支援す 産業サポートネットやすぎや 企業誘致に向け新

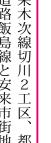
を支援します。

創業支援アドバイザーにより市 ることにより商工業を活性化し 内事業者や創業希望者を支援す



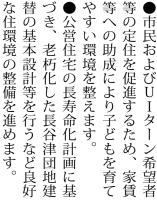
テンツ企画や、各種プロモー さぎの湯温泉を中心としたコン 寺・月山富田城跡・足立美術館 「安来旅」の魅力となる清水

通ネットワークの向上に努めて いきます。 拡幅改良を進めるなど道路・交 東西に結ぶ市道安来港飯島線の 計画道路飯島線と安来市街地を 安来木次線切川2工区、



都市基盤

万野





市内インバウンドモニ ターツア での藍染め体験の様子。





◆中海ふれあい公園の開園式の様子。遊具が設置してある子ども広場などは開園してから多くの人が訪れています。引き続き、市民が集う憩いの場となる公園整備を進めていきます。 ▲ 消防団の入団式で防火や防災への意識を高め、気持ちを一つにする団員たち。地域防災に大切な役割を担う消防団の活動を支援し、防災力の向上を図ります。
▼荒島地区での地域ビジョン作りに向けたワークショップの様子。平成30年度は6つの交流センターががんばる地域おこし支援事業に取り組みました。今後も地域住民と一緒になって行う交流センターの活動を支援していきます。



分野・防犯 いい

●13mブーム付多目的消防ポンプ自動車を新たに整備することなどにより、各種の災害に迅速に対応できる体制を強化し、被に対応できる体制を強化し、被に対応できる体制を強化し、被事の軽減を図ってまいります。事を導入するなど消防団体制の車を導入するなど消防団体制の車を導入するなど消防団体制の方実を図ります。

行財政分野 参画・協働

地域コミュニティの中核で地域では、地域住民と共に地域の課題に、地域住民と共に地域の課題を掘り下げ、その解決に向けたを掘り下げ、その解決に向けた

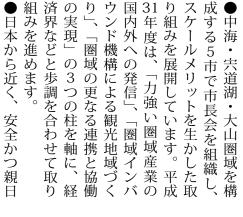
しごと創生総合戦略」の次期総また、「安来市まち・ひと・計画を策定します。

前期基本計画が平成31年度に終

第2次安来市総合計画」の

す。 し、一体的な市政運営を進めま 合戦略を総合計画と併せて策定

●中海・宍道湖・大山圏域を構編さん事業に着手します。もらう安来市史を刊行するためるさとへの誇りと愛着をもってるさとへの誇りと愛着をもってを正しくかつ高度にまとめ、ふ



予算の概要は、次号で紹介する

湾との交流を進めていきます。中でも安定的な交流が望める台的であり、不安定な国際情勢の



度での完了を目標に、

中海ふれあい公園の平成32年

等の整備を行います。

イベント広場、

、駐車場増設に、子ども広

